

こどものまち(MiNiCiTY)EXPO 2009 in Yokohama 開催結果報告書

～大人こども合わせて約 3000 人が参加しました！～

1 [第 2 回こどものまち世界会議 in yokohama]

8月8日(土)9日(日)横浜市開港記念会館

2 [こどもが創るまち ミニヨコハマシティ・イベント]

8月7日(金)8日(土)9日(日)横浜大さん橋ホール

主催 こどものまちEXPO実行委員会 U-19 実行委員会

共催 横浜市こども青少年局 こども環境学会 特定非営利活動法人 I Love つづき

協力、後援多数(最終ページに記してあります)

海外からの参加者 12 名

ハイデローゼ・ブルックナー、カーラ・ツァハリアス

ゲルト・グリューナイズル、ハルトムート・ヴェーデキモン

アンナ・カブラン ジークフリート・バース 他 19 歳以下の青少年 6 名

1[第 2 回こどものまち世界会議 in yokohama]

8月8日(土)9日(日)横浜市開港記念会館

◇参加人数 8 日午前午後 135 名 レセプション 105 名

9 日午前午後 171 名

計 411 名

(その他展示観覧者あり)

◇主な開催スケジュール

【8日(土)】

10:00～13:00 こどものまち全国交流サミット

・ドイツのこどものまち映画上映

・こどものまち「シビックプライド・マッチ」

14:00～16:00 「ミニヨコハマシティ」ガイドツアー(於:大さん橋ホール)

・大さん橋ホールのこどものまちなを、こどもガイドによる観光ツアー

14:30～15:30 U-19こどものまち世界会議(於:大さん橋ホール)

・「遊びのまち まち遊び」を考える

・ドイツから4人のこども達によるこどものまちなの紹介 (トランクから飛び出すこどものまち)

※14:00～のプログラムは大さん橋ホールに移動して行いました。

18:00～20:00 レセプション(懇親会)BankART Studio NYK/2F

【9日(日)】

10:00～13:00 次世代育成政策シンポジウム

・「子どもの声を行政施策に結びつける方法～ドイツと日本で」

ハイデローゼ・ブルックナー、カーラ・ツァハリアス 他

14:00～15:00 ドイツのこどものまち映画上映

15:00～18:00 「こどものまちにおける大人の役割」

・パネルディスカッション「こどものまちの疑問」～仕掛け、マニュアルがあるのか？

ゲルト・グリューナイズル、ジークフリート・バース 他

☆内容について

8/7(土)

シビックプライドマッチでは、全国の「こどものまち」がそれぞれまち自慢をしあって、まずは理解と交流を深めました。

ミニさくら(千葉県佐倉市)、こどものまち(仙台市青葉区)、ピンポン横丁(名古屋市緑区)、ミニいちかわ(千葉県市川市)、こども四日市(三重県四日市市)、ミニヨコハマシティ(横浜市)、ミニ大阪(大阪市)、ミニたちかわ(東京都立川市)、キッズタウンなかむら(名古屋市)、ミニ★大阪(大阪市)、こどものまち高砂(兵庫県高砂市)、とさっ子タウン(高知市)、チャキッズタウンこどもがつくるまち(京都)の13のまちがエントリー。クイズとこども審査委員、ドイツのお客さまの投票により、「ミニ大阪」がユニークなことをしているという評価、そしてこども審査委員により、「とさっ子タウン」が、いつてみたいこどものまちの1位に選ばれました。

8/8(日)

午前中のシンポジウムでは、

「子どもの声や思いを政策に活かす方法」ということで、

ハイデローゼさんとカーラさんによるドイツの先進事例紹介とともに横浜、千葉、名古屋、高知での事例報告を主に、議論を進めました。

こどものまちを政策に活かす方法」として、

- ・まずは政策に活かすため「子ども」自身の声をきくことが必要。そのためには、子どもが大人に対して発言するトレーニング。大人がこどもの潜在的な意見を上手に引き出すトレーニング、この両方が必要で、これらのトレーニングの場としてこどものまちという事業は適している。
- ・「こどもの権利条例」という制度からアプローチするやり方もある。
- ・多くの人が関われるために、また広く知らしめるために、情報をいかに発信し共有するか、という点も重要。

ということが、まとめとして挙げられました。

午後のシンポジウムでは、

「こどものまちにおける大人の役割」として、

前半はゲルトさんの基調講演とともに各地のこどものまちでの大人スタッフマニュアルを元に、大人とこどもの関わり方について議論しました。

また後半にはジークフリートさんにより「メディアとこども」ということで、映像制作へのこども参画の事例を報告いただきました。

2 [こどもが創るまち ミニヨコハマシティ・イベント]

8月7日(金)8日(土)9日(日)横浜大さん橋ホール

◇U-19 参加人数 7日 557名(内運営こどもスタッフ 220人)

8日 668名(内運営こどもスタッフ 250人)

9日 692名(内運営こどもスタッフ 250人)計 1917名

大人(大人ツアー参加者、観覧席、ボランティア等)

7日 240名

8日 350名

9日 280名 計 670名

◇青少年センター宿泊者数 6日 20名 7日 90名 8日 90名 9日 30名

◇主なミニヨコイベントスケジュール

【7日(金)】こどものまち OPEN 10:00~16:00

・14:00~ 市長選挙立候補者立会演説会

【8日(土)】こどものまち OPEN 10:00~16:00

・14:30~15:30 U-19こどものまち世界会議

【9日(日)】こどものまち OPEN 10:00~16:00

・13:00~ 市長選挙開票

・14:00~ 市長所信表明演説

【3日間とも】ミニヨコステージ随時

◇ミニヨコお店リスト

市民局(市民登録受付)、ミニヨコ学校、保育園、ミニヨコ郵便局、水道局、警察、病院、MHK(ミニヨコ放送局)、イベント事務所、電力局、みんなの広場(路上アートコーナー)、ジョブセンター、ミニヨコ銀行、ミニロ交換所、起業コンサルタント、市役所広報局(印刷センター)、ミニヨコ市役所(選挙管理委員会→投票所、宝くじ売り場、相談所等)、広告代理店、ホームセンター、射的屋、きょうふのおばけ写真館、ミラクル屋&写真館、ミニヨコペロタクシー、ミニミニ軒(シュウマイの入った蒸かし饅頭)、たきこミニ寿司、チョコっとクッキー(チョコでデコレートしたクッキー)、わたがしのわっちゃん、和(アイス、白玉、雑貨)、スナックフィッシング(ゲームで食べ物ゲット、餃子ピザ、パン耳スナックなど)、横浜生まれのナポリタン(ナポリタン、カレー、ポテトフライ)、ゴミステーション、しゃぼんず(お皿を洗うところ)

◇大使館

《名古屋》ピンポンハウス:ピンポン亭→たませんと鳴海しぼりのうちわ

《千葉県佐倉市》ミニさくら→パン耳スナック、ホットロールサンド、ピーナッツサンド、路上アート

《大阪》ミニ★大阪:くいしんぼういらっしゃーいまいどおおきに→

たこやきや(たこやきを焼いている間に、大阪に関する3択のクイズを出して、大阪をPR)

《大阪》ミニ大阪:昔遊びの館→ベーゴマ、メンコ、将棋など

《立川》ミニたちかわ:ミニたち映画館→こどもの自主製作映画上映

まんぷく Tachikawa→あんこボール、フルーツボール他

《千葉県市川市》ミニいちかわ:カジノ GYOTOKU→インディアンポーカー、ダーツ
《千葉県千葉市》イツアスモール CBT:ピーナツハウス→ピーナツサンド、千葉の紹介
《高砂》たかさごPR→こども会議スティックカム中継

◇市長選挙結果

開票結果

◎三浦絢佳 99

○まつざき高志 41

木原正絵 37

武藤あかり 31

石野晶子 23

荒井風太 20

鈴木ひなた 10

徳武のどか 9

蓬田将士 7

無効 2

有効投票数 279票

投票者数 150名

市長 三浦絢佳(高校3年生)三選目 副市長 松崎たかし(ミニいちかわ市民)

次点だった2人が市長から任命され、市長秘書に 木原正絵、武藤あかり 就任。

☆投票ルール

- ・投票は3日間で1回だけできる。(市民証にチェック)
- ・市長、副市長の2名を投票できる。(投票用紙一人2枚交付)
- ・得票数1位が市長 2位が副市長

◇MHK(ミニヨコ放送局がこどもレポーターによって行なわれました)

Y150市民放送局協力によるスティックカム放送(当日のようすを動画で見ることができます)

<http://www.stickam.jp/profile/miniyoko>

☆保護者コーナーで、ドイツからハルトムート博士がものづくりのワークショップを開きました。

◇当日までのこども会議

2月22日最初の運営市民こども会議

3月20日こども会議2回目

4月4日TMC(タウンメイクコミッティ、プランナー会議)

5月3日こども会議3回目

5月30日こども会議4回目

6月28日こども会議5回目

7月5日TMC(タウンメイクコミッティ、まちづくり会議)

7月25日こども会議6回目

8月1日～5日 まちづくりワークショップ

◇主催・共催・後援・協力など

【主催】こどものまちEXPO実行委員会

U-19こどものまちEXPO実行委員会

(事務局 NPO法人ミニシティ・プラス)

【共催】横浜市子ども青少年局 特定非営利活動法人I Loveつづき

子ども環境学会

【後援】(財)横浜開港150周年協会 キッズデザイン協議会

(財)横浜市国際交流協会 横浜市中区役所 tvk(テレビ神奈川)

神奈川新聞社 横濱まちづくり倶楽部 ゲーテ・インステイトウト

【協力】ハウスクエア横浜→Tシャツ協賛、こども会議スペース貸し等協力多数

横浜建設業青年会→Tシャツ協賛、ミニヨコ会場設営協力

KDDI(株)→Tシャツ協賛、ジョブセンターストラップ提供

関東学院大学中津研究室→ミニヨコハマシティ準備&運営協力

BankART1929→まちづくりワークショップ場所提供

office mikiko →ミニヨコハマシティ、まちのデザイン、設計協力

横浜市水道局→こども水道局支援

横浜市資源循環局→ゴミステーション機材貸し出し

横浜市明るい選挙推進協議会、横浜市中区明るい選挙推進協議会→投票用紙印刷、選挙機材一式貸し出し

(財)明るい選挙推進協会→協賛ブース出店、選挙公報支援等

酒のうちの→わたあめ機材提供、冷凍庫貸し出し、資材運搬協力

カゴメ(株)→横浜ナポリタンのお店の食材提供

日本製粉(株)→横浜ナポリタンのお店の食材提供

日本ナポリタン学会→横浜ナポリタンのお店の食材提供

東京電力(株)→こども会議場所協力、IH機材貸し出し

東京都市大学環境情報学部→ビデオ撮影協力

ハッスル(株)→機材貸し出し

(株)大川印刷→市民証、ミニロ印刷協力

NDC グラフィックス→大使コンテスト商品提供、ミニヨコキッズキャラクターデザイン協力他

Y150 市民放送局→ミニヨコ放送局支援

NPO 法人ベイ・ウインド環境ヨコハマ推進協議会→ペロタクシー支援

NPO 法人横浜コミュニティデザインラボ→世界会議運営支援

creative office tie→こども写真館支援

東京総合写真専門学校→こども写真館機材貸し出し

エプソン販売(株)→こども写真館印刷紙他提供

JA全農とやま→お米の提供

麒麟ビール(株)→飲料提供

増田林業→こどものまち材料提供

パステル横浜デザートファクトリー→食品衛生関連用品提供

中川駅前商業地区振興会→軽トラック貸し出し

武松商事(株)→廃棄物処理協力

ベンジャミンムーア→黒板塗料協力

トウランドット実行委員会

他、当日ボランティアで参加くださった多くの方々……

***この事業は日本郵便の年賀寄付金の助成を受けて開催しました。**

郵便事業株式会社→こども郵便局他支援

【世界会議、大使館等で協力いただいたこどものまち】

ミニミュンヘン、Fezzity、ミニシュツットガルド(以上ドイツのこどものまち)、ミニさくら(千葉県佐倉市)、こどものまち(仙台市青葉区)、ピンポン横丁(名古屋市緑区)、ミニいちかわ(千葉県市川市)、こども四日市(三重県四日市市)、ミニ大阪(大阪市)、ミニたちかわ(東京都立川市)、キッズタウンなかむら(名古屋市)、ミニ★大阪(大阪市)、こどものまち高砂(兵庫県高砂市)、とさつ子タウン(高知市)、チャキッズタウンこどもがつくるまち(京都)、イツアスモールCBT(千葉県千葉市)

◇マスコミ報道などについて

タウンニュース 2回(7/22、8/13)

神奈川新聞(8/6)

朝日新聞(8/7)

東急ケーブルテレビツツコム(8/7放送)

ヨコハマ経済新聞(WEB)エリア特集

大さん橋に出現！ 大人は立ち入り禁止・口出し無用！ 子どもたちがつくるまち「ミニヨコハマシティ」

<http://www.hamakei.com/column/191/>

ご協力、本当にありがとうございました！！

2009年8月6日 神奈川新聞記事

一足先に「市長選」

子どもたちが仮想のまち

横浜で催し

選挙権のない19歳以下の子どもたちが、仮想の横浜のまちをつくって運営するイベント「ミニヨコハマシティ」(ミニヨコ)が、7日から横浜市中区の大さん橋ホールで開幕する。最終日の9日には、横浜市長選(30日投票)に先駆けて「ミニヨコ市長選」も実施。小学生から高校生までの立候補者が「理想のまち」について主張を繰り広げる。



7日の開幕を控え、会場設営用の「大道具」を作る子どもたち＝横浜市中区の「BankARTStudio NYK」

選挙権のない19歳以下の子どもたちが、仮想の横浜のまちをつくって運営するイベント「ミニヨコハマシティ」(ミニヨコ)が、7日から横浜市中区の大さん橋ホールで開幕する。最終日の9日には、横浜市長選(30日投票)に先駆けて「ミニヨコ市長選」も実施。小学生から高校生までの立候補者が「理想のまち」について主張を繰り広げる。

「ミニヨコ市長選」も実施。小学生から高校生までの立候補者が「理想のまち」について主張を繰り広げる。

「ミニヨコ市長選」も実施。小学生から高校生までの立候補者が「理想のまち」について主張を繰り広げる。

演説する。有権者も来場する子どもたち。「政見放送」を比較し、投票する。

今回は横浜市の協力で、本物の投票用紙に模した「ミニヨコ市長選投票用紙」を6千枚用意した。7日午後2時から立候補者立会演説会が行われ、イベント期間中に投票。9日には新市長が決定する。

初代・2期と、2年間リーダーを務めた現市長の高校3年生、三浦絢佳さん(18)は、6日までの任期をきっちり務めて3期目に挑戦する。「ミニヨコと地域のつながりづくりを訴えたい」と話している。

このほか、ミニヨコでは小学生から高校生120人が「やってみたい職業」にちなんだ店を出す。また「ミニシティ」発祥地のドイツ・ミュンヘンをはじめ、国内外の各都市約20団体が参加する「こどものまち世界会議」(8・9日、市開港記念会館)も同時開催される。問い合わせは同実行委員会。090(6147)5258。(宮島 真希子)

子どもが作る仮想のまち 大さん橋に出現

独「使節団」と交流も



店を運営して社会を学ぶ

19歳以下の子どもたちによる仮想都市イベント「ミニヨコハマシティ」が8月7日(金)から9日(日)まで、大さん橋ホールで開催される。主催はこどものまちEXPO実行委員会。

これは、子どもに楽しみながら社会経験を実践してもらおうと2年前から始まったもの。子どもが仮想都市の中でルールを決めながら、役所や交通、銀行といったサービス提供や飲食店、雑貨店での物販を行う。期間中にはリーダーとなる“市長”を決める選挙も実施。まちに入れるのは19歳以下の子どものみで、基本的に大人の口出しは禁止。

今回は8、9日に開港記念会館で行われる「こどものまち世界会議」に参加するドイツの子どもも参加。

時間は午前10時から午後4時。参加費は3日間で1200円、1日の場合500円。保護者などの大人はまちを見学するツアーで入場可能(参加費500円)。本紙を会場の市民登録所で見せるとミニヨコハマ通貨「10ミニヨコ」が手に入る。詳細は事務局、電話090・6147・5258へ。

2009年8月7日朝日新聞

述べた。そのうえで中西氏「7月15日、横浜市内で開かれ、15区、16区、17区、18区の立

林氏は横浜市在住、05年生

子どもの「まち」きょう創設

商業体験や「市長選」など、子どもが遊びながら「まち」を「ナポリタン」など種々な楽しみのイベント「ミニヨコハマシティ」(ミニヨコ)が、7日から8日まで横浜市中区の大さん橋ホールで開催される。

3回目の開催。これまでは横浜市中区が会場だったが、初めて中区に進出、規模も拡大した。三浦純任市長(18)など、100人以上の運営市民が準備を進めた。

写真

市民になれるのは19歳以下だけ。会場には市役所、銀行、郵便局や食べ物屋などが並ぶ。30分単位で、ミニヨコという通貨がもらえる。会場内で使える。今年は今国各地のミニシティやドイツからの参加もあり、「大使館街」ができた。

7日から9日の午前10時から午後4時、参加費は19歳以下で1人で「まち」に家賃500円、1日500円、3日1500円、5日2000円。大人は「大人ツアー」(500円)での参加のみ可。問い合わせは実行委員会(090・6147・5258)へ。

今年で3回目。日本、米国、1のキヤンブでは、環境に配慮

